囲碁サミット 2013in 北杜(名峰と名水の里北杜囲碁まつり)

～囲碁文化の継承と普及を通じて地域の発展を目指す～

1）囲碁文化の普及促進にむけて

北杜市は、全国でも珍しい貴重なコレクションを多数所蔵する北杜市囲碁美術館を平成 18 年に開設し、「暮らしの中の囲碁美術」をテーマとして、囲碁に関する資料を公開し、囲碁文化の伝承と囲碁を通じた文化交流の促進、市民文化の向上を目指しています。そのため、広く囲碁文化の普及と地域の発展のため、全国の自治体が一堂に会し、囲碁文化事業を報告し合い交流を深める「囲碁サミット」を国民文化祭北杜市主催事業と位置付けました。

囲碁サミットを国民文化祭事業として取り組むのは初めてのケースで、日本棋院北杜支部（組織の基盤が盤石）とも連携しながら、「囲碁文化の定着と囲碁愛好家の裾野を広げる」ことをテーマに事業展開を検討してきました。

2010 年から毎年開催されている「囲碁サミット」は、加盟自治体を開催地として地域ごとに特色のある運営を行っています。囲碁を通じ地域発展を展開している先進自治体や囲碁サミット会場地へ赴き、「囲碁サミット in 北杜市」の成功にむけて情報収集に努めました。

2）山紫水明の地で囲碁大会を・・(H24 年プレ事業)

本大会に向けて、囲碁サミットを盛大に開催するため、「第 1 回名峰と名水の里北杜囲碁まつり」をプレ事業として開催しました。日本棋院によるプロ棋士との指導碁、入門教室や名産・特産品をそろえた運営を行い、本市の魅力である自然環境の良さ、囲碁文化の浸透を PR することができ、本大会に向けた力づよい大会とすることができました。

5 月 27 日：名峰と名水の里北杜囲碁まつり

・240 名参加

≪プロ棋士による指導碁≫

≪対局の様子≫

≪名水そば≫

≪級位戦の様子≫

≪入門教室≫

≪囲碁美術館≫

3）囲碁サミット開催（H25 年本大会）

本大会では、囲碁文化の継承と普及を通じて地域の発展を目指すため、サミット、囲碁大会を 2 日間にかけて開催しました。1 日目のサミットでは、「囲碁で脳を鍛えることが出来るか？」と題し、囲碁の効能をわかりやすく解説する東北大学川島教授の記念講演、各自治体が囲碁を通じて地域発展している具体的な取り組み事例の報告が行われるとともに、「地域の特性を生かしながら、囲碁文化の振興と充実に努める」など 4 条の宣言文が読み上げられました。

2 日目の囲碁大会では、プレ大会を上回る県内外からの参加者が集い、囲碁を通じた交流と技術を競い合い、プロ棋士との指導碁や入門教室、名産・特産品をそろえた特色あるおもてなしで囲碁文化の普及に努めました。

5 月 25 日：囲碁サミット in 北杜：350 名参加

≪記念講演≫

≪活動報告≫

≪サミット宣言≫

≪プロ棋士による指導碁≫

≪交流会≫

5 月 26 日：名峰と名水の里北杜囲碁まつり：320 名参加

≪会場の様子≫

≪対局の様子≫

≪プロ棋士による指導碁≫

≪入門教室≫

≪名水そば≫

≪閉会式≫

4）次世代へつなぐ

国民文化祭事業として取り組んだ「囲碁サミット in 北杜」は、本市における囲碁文化の活動が活発にされていることを県内外へ広く周知する機会となりました。

今後は、日本棋院と協働しながら小中学校生対象の教室や囲碁美術館の活用、「名峰と名水の里北杜囲碁まつり」の継承などを行い、囲碁文化の発展を目指していきます。